



# 『多古町の農業を考える会』 会員募集中！



多古町の農業を考える会では、新規就農者のサポートができる方を対象に会員を募集しています。メンバー構成は非常に多様で、露地栽培や施設栽培、水稲栽培、酪農、養豚、養鶏など、多岐にわたる農業分野の方々が参加しています。

当会では、新規就農者の支援のほか、多古町の農業の現状や課題を一緒に考え、解決策を模索しています。

## 【主な活動内容】

### ①検討会の開催

多古町の農業の現状や課題を共有し、さまざまな視点から意見交換をしています。

### ②農業体験ツアーの開催

農業に興味のある方や就農を考えている方に向けて、農業を体験できる機会を提供しています。

### ③農業 EXPO への参加

多古町の農業の魅力を広く PR するため、農業 EXPO に参加し就農相談を実施しています。

### ④多古町就農マッチングサイトの運営

新規就農者と、その支援ができる農業者を結びつけるプラットフォームを提供しています。

### ⑤農業後継者問題への取り組み

農家の高齢化が進んでいることから、第三者継承の可能性を深く探り、新規就農者と既存農家をつなげることで、後継者問題の解消に力を注いでいます。

多古町の基幹産業である農業が次世代に続くよう活動していきます。参加希望の方は、下記お問い合わせ先または参加申込フォームよりご連絡ください。多古町の農業を支えるため、ぜひご参加ください。



多古町の農業を考える会  
ホームページ



多古町の農業を考える会  
参加申込フォーム



多古町就農  
マッチングサイト

お問合せ●多古町の農業を考える会事務局(産業経済課農業振興係) ☎ 76-5404

## 農畜産物の可能性を考えるセミナーを開催しました

多古町で生産者が思いを込めて作った農畜産物は、さまざまな種類があります。そのまま出荷するだけでなく、加工や販売の工夫で「もっと価値を高められないか」という問いから、多古町農業連絡協議会では「6次産業化・加工品開発」をテーマにセミナーを開催しました。

当日は農業関係者や加工品開発に携わる方などが参加し、農業分野や農産物加工分野で見聞を持つ講師から、農産物の付加価値を高める手法を学びました。

視点を変えれば農産物の可能性は広がっていきます。今後も町では、農畜産物加工品開発への補助金制度「農畜産物ブランド化推進事業補助金」や販路開拓のサポートを通じて「6次産業化・加工品開発」の支援を行ってまいります。

6次産業化・農畜産物の加工品開発にチャレンジしたい方は、ぜひご相談ください。



地域おこし協力隊による  
「焼きおさつのなめらかクリーム」



補助金の概要はこちらから

お問合せ●多古町農業連絡協議会事務局(産業経済課農業振興係) ☎ 76-5404

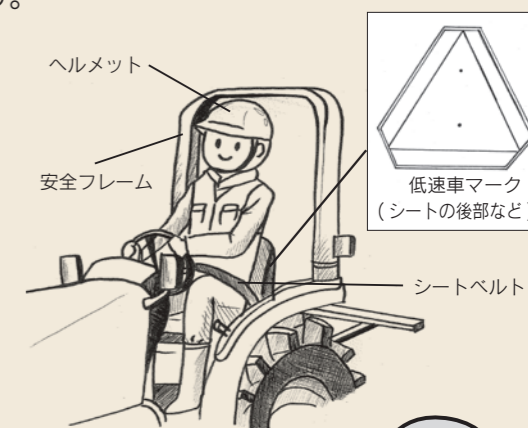
## 農作業中の事故に注意！

農業機械作業に伴う死亡事故が毎年全国で **300 件以上** 発生しており、千葉県内でも尊い命が失われています。

農業機械作業で最も死亡事故が多いのが、**トラクターの転倒、転落事故**です。

農作業中の安全確保のため、今すぐ自分でできる有効な手段は、作業者自身の注意です。慣れた作業であっても注意を怠らず、安全に作業を行いましょう。

- ①作業にあつた服装で作業しましょう。
- ②首にタオルを掛けていると、機械に巻き込まれる危険があるので注意しましょう。
- ③公道走行時は、必ず左右のブレーキを連結しましょう。
- ④走行中は、シートベルト、ヘルメットを着用しましょう。
- ⑤安全キャブや安全フレームを装着しましょう。
- ⑥低速車マークや反射板を設置しましょう。



詳しい内容は、「農作業安全情報センター」のホームページをご覧ください。

インターネットで農業機械を安全に使うための知識を学ぶことができます。

お問合せ●農業委員会事務局 ☎ 76-5403



詳しくはこちら

